



AI Challenge

AI活用人材を育成する実践的教育プログラム

ソフトバンク株式会社
CSR本部 教育企画課
2021年10月26日

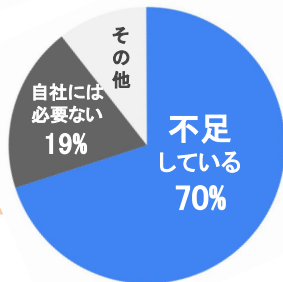
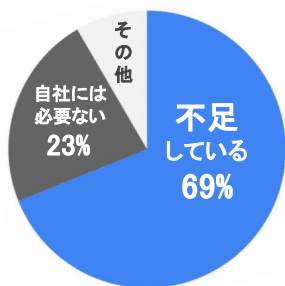
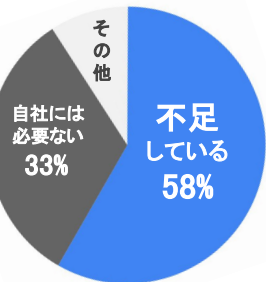
不足しているAI人材とは？

実社会で多くの企業が求めるのはAI開発者ではなくAIを使いこなす人材

AI活用人材

AIを活用した製品・サービスを企画できるAI事業企画

AIツールでデータ分析を行い、自社の事業に活かせる従業員



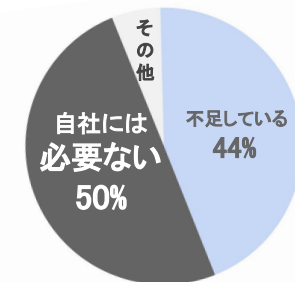
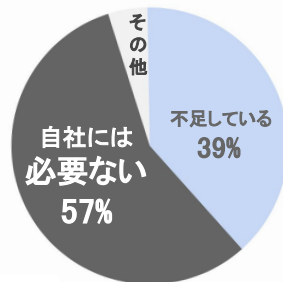
現場の知見と基礎的AI知識を持ち、自社へのAI導入を推進できる従業員



AI開発者

先進的なAIアルゴリズムを開発したり、実装できるAI研究者

AIを活用したソフトウェアやシステムを実装できるAI開発者



不足している





AI Challenge

AI活用人材を育成する実践的教育プログラム

知る

AI活用リテラシーの習得

ソフトバンクのAI活用事例から基礎知識を習得
AI活用企画を立案し企業実務者が講評

つくる

AI活用の実践

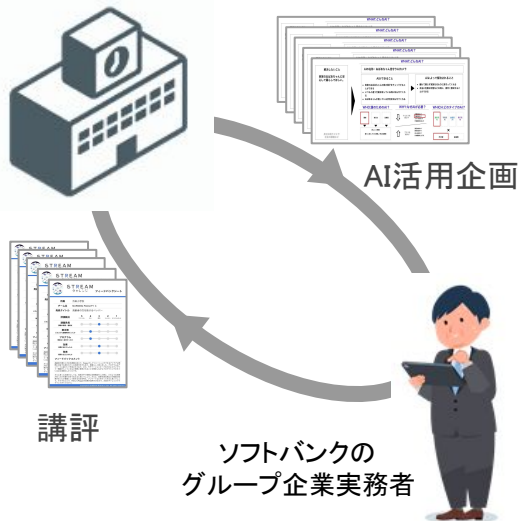
最先端AI構築環境のハンズオン演習
AIを活用した課題解決の実践

役立てる

AIチャレンジのポイント

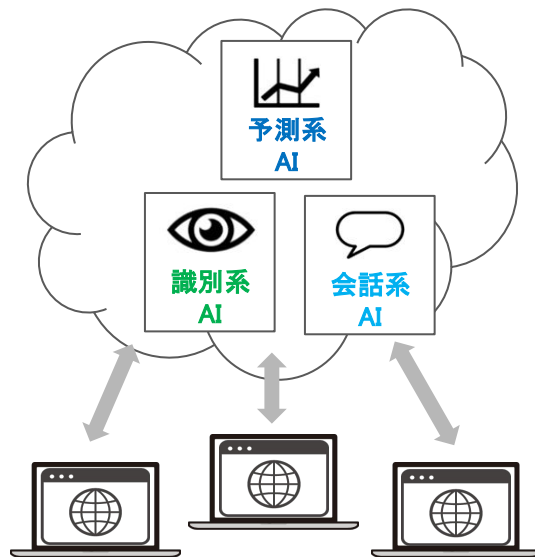
ソフトバンク流の考え方を直伝

実践的な企画立案と
企業実務者による講評



インストール不要ですぐに始められる

ブラウザベースの
最先端AI構築環境を使用



AIの専門知識がなくても安心

授業用スライドや
研修動画等を用意



*予測系AI: Prediction One、識別系AI: Teachable Machine、会話系AI: Dialogflow を使用

レベルに応じて選べる2コース

中学校・高等学校(普通科)にオススメ

AI活用リテラシーコース

高等学校(情報科等)・部活動にオススメ

AI活用実践コース

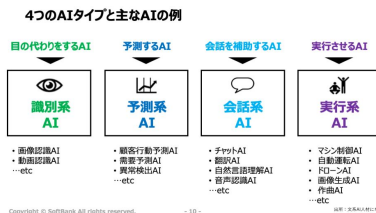
知る	Unit 1 AIを知る	2コマ	Unit 1 AIを知る	2コマ
つくる	Unit 2 AI活用企画をつくる	2コマ	Unit 2 AI活用企画をつくる	2コマ
			Unit 3 AI構築を体験する	2コマ※
役立てる			Unit 4 AIを役立てる	4コマ

[注]

※ 1構築環境あたり。最大 3構築環境の利用が可能。

各ユニットの学習内容

Unit 1 AIを知る



Unit 2 AI活用企画をつくる



Unit 3 AI構築を体験する



Unit 4 AIを役立てる



- AI活用の実例を知る
- AIで変化する仕事を知る
- AIの種別を知る
- AI活用を体験する

- AI活用方法を考える
- AI活用企画をまとめる
- AI活用企画を発表する
- 実務者がAI活用企画を講評する

- AI構築環境を知る
- AI用語を理解する
- AIモデルをつくる
- AIモデルを呼び出す

- 問い・課題を見つける
- 解決方法を考える
- AIを実装して役立てる※
- AI活用事例を発表する

情報Ⅰ 対応

(1) 情報社会の問題解決

(2) コミュニケーションと情報デザイン

情報Ⅱ 対応

(1) 情報社会の進展と情報技術

- (2) コミュニケーションとコンテンツ
- (3) 情報とデータサイエンス
- (4) 情報システムとプログラミング
- (5) 情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

※ AIを役立てる手段として、人型ロボット「Pepper」を活用できます。ソフトバンクロボティクス株式会社が提供する、教育機関向けのサービス「Pepper for Education」の導入もご検討ください。

Unit 1 ～AIを知る～

AIの実例動画等からAIを知り、AIサービスを体験する

AI活用の事例を知る



STEP①

AI社会で 変化する仕事 を知る

AIを
作る仕事

AIを
使いこなす
仕事

STEP②

AIの種別 を知る



識別系AI



予測系AI



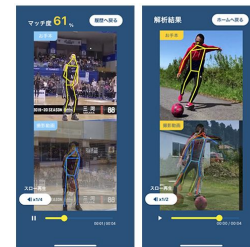
会話系AI



実行系AI

STEP③

AI活用を体験する



STEP④

Unit 2 ～AI活用企画をつくる～

AI活用リテラシーコース

AI活用実践コース

AI活用企画の作り方を学び、実際にAI企画を作成する

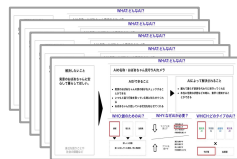
実務者がAI活用
企画を講評する

AI活用方法
を考える



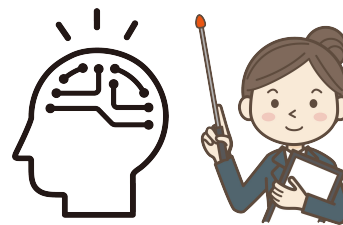
STEP①

AI活用企画を
まとめる



STEP②

AI活用企画を
発表する



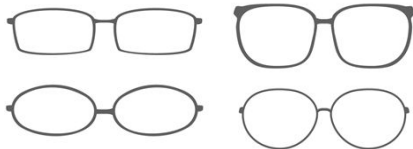
STEP③



STEP④

Unit 3 ～AI構築を体験する～

最先端AI構築環境でAI構築を体験する

	識別系AI	予測系AI	会話系AI
演習内容	「4」と「9」の画像識別  4OR9? 模型を使った駐車場の空車判定	購買傾向データを基に おすすめメガネをレコメンド 	シチュエーションに合わせた自動 応答システム 知りたい時代は？ 鎌倉時代 1185～1333年 までですよ
学習する AI用語	・機械学習、ディープラーニング ・ニューラルネットワーク、重み ・バッチサイズ ・学習反復世代数(エポック) ・構造自動探索	・二値分類、多値分類、数値予測 ・学習と評価 ・説明変数、目的変数 ・混同行列 ・正解率、適合率、再現率、F値	・ルールベース、生成ベース ・タスク指向、非タスク指向 ・インテント ・分かち書き ・フォールバック

※ 開発中の内容のため変更になる可能性があります

Unit 4 ～AIを役立てる～

最先端AI構築環境を利用してAI活用事例を創出する

問い・課題を
見つける



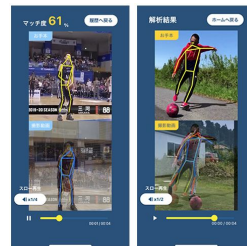
STEP①

解決方法を
考える



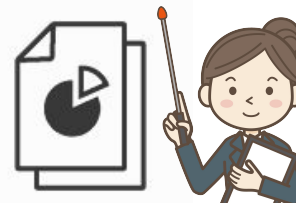
STEP②

AIを実装して
役立てる



STEP③

AI活用事例を
発表する



STEP④

AI活用コンテスト

学習成果の発表としてアウトプットの設定

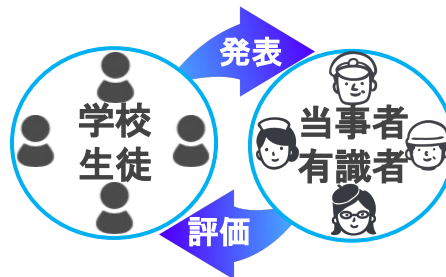
AI活用コンテスト
エントリー

AI活用コンテストで発表

参加特典とアワード授与

AI活用企画部門

AI活用実践部門



SoftBank

AI活用企画、または
AI活用事例の内容を
まとめ、エントリー

各部門の発表内容を
課題当事者や有識者が
審査・評価を実施

オンライン講演会参加権や
優秀チームは、ソフトバンクAI部
門へのインターン

特別協力校

2021年4月～9月でトライアル授業実施

公立 普通科	福井県立高志高等学校 兵庫県立加古川東高等学校 奈良市立一条高等学校
公立 情報科	岐阜県立岐阜各務野高等学校 島根県立情報科学高等学校
私立 普通科	大妻中学高等学校
高等専門学校	福島工業高等専門学校



部活動での導入パターン

1 契約で授業時間と部活動の両方で利用可能

例えば、下記の例では「AI活用実践コース」を導入いただければ
授業時間でUnit1・2のみ、部活動でUnit1～4まで実践する使い方もできます



AI活用リテラシーコースを利用
(1学年120名)



AI活用実践コースを利用
(部活動15名)

教材概要

コース	AI活用リテラシーコース		AI活用実践コース
教材内容	教材配信プラットフォーム		
	授業支援ツール(教材概要説明資料・教員用資料・学習指導案・授業用スライド・ワークシート・確認テスト・研修動画)		
	—		AI構築環境用データ ・Prediction One クラウド版ライセンス ・AI構築環境用サンプルデータセット・プログラム
申込対象	以下学校を運営する自治体・法人 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校		
契約期間	1年単位		
費用 ※	年間120,000円(税込132,000円)/ 団体		年間270,000円(税込297,000円)/ 団体
申込み単位	学校又は学科単位		
推奨環境	<OS>Windows 8.1/Windows 10/macOS 10.15/Chrome OS 最新版 <ブラウザ>Google Chrome		
オプション	—		オンライン授業サポート 100,000円~(税込110,000円~) <内容>Unit3演習サポート <サポート時間/対象>2コマ(約100分)1クラス(40名想定)



最新の情報はホームページを御覧ください

<https://www.softbank.jp/corp/sustainability/special/ai-challenge/>

以上